



Step2

ビジネス・経済

日→英

目次

練習課題.....	5
練習課題 1 R&D により、医療機器分野において新規事業展開に成功した企業.....	6
練習課題 2 なぜ昔の製造業の現場は力があつたのか.....	9
練習課題 3 会計監査人監査の相当性 監査調書.....	12
練習課題 4 グローバル企業は国境をこえて.....	16
添削課題.....	21
添削課題 B-201 地球温暖化とは？.....	22
添削課題 B-202 10 年前の家電製品を省エネ型にするだけで.....	23
添削課題 B-203 津波と原発.....	24
添削課題 B-204 環境にやさしい製品とは.....	27
添削課題 B-205 震災を超えて～「日本ブランドの輝き」を取り戻す～.....	28
添削課題 B-206 投資信託の市場動向（平成 22 年中）.....	29
添削課題 B-207 投融資業務の基本方針.....	30
添削課題 B-208 経営成績に関する定性的情報.....	31
添削課題 B-209 ユーロ導入の経済的理由.....	32
添削課題 B-210 為替投機による為替リスクの負担.....	33
添削課題 B-211 環境マネジメントの必要性.....	37
添削課題 B-212 品質システムの維持.....	38
添削課題 B-213 システムリスクに対する認識.....	39
添削課題 B-214 現状分析に先立ちまして.....	42
添削課題 B-215 会計機関とは.....	43
添削課題 B-216 セキュリティとパフォーマンスを両立ーWeb Watch のソリューション導入で.....	44
添削課題 B-217 進化を続けるアスクル.....	46
添削課題 B-218 ヤフー現 CEO が東京で明かしたデータ分析術.....	47
添削課題 B-219 Smart Green Building 概要.....	48
添削課題 B-220 100 周年に向けて ～ 国内経済に明るい兆し.....	49

Sidelight 1	キャッシュフロー計算書とは	19
Sidelight 2	金融市場とは	25
Sidelight 3	金融におけるリスク	34
Sidelight 4	IR とは	40
翻訳コーディネーターJun	のぼやき日記	15、45

練習課題

練習課題 1

円安に振れても、産業の空洞化にはなかなかストップがかからないようです。課題文は、地方の中小企業が新規事業の開拓を行い、成功を収めた事例を述べています。（翻訳目安時間：120 分）

R&D により、医療機器分野において新規事業展開に成功した企業

群馬県高崎市の観音山製作所株式会社（従業員 34 人、資本金 3,000 万円）は検査キットや医療用機器を製造する企業である。

同社は、元々金型の製造や成型加工を行う企業であったが、国内外の競争激化により、今後の成長見通しが低いことから、新たな事業の開始を望んでいた。試行錯誤を繰り返しながらも、社内外からアイデアを募り、社長も直々に事業可能性を検討したりした。その中で、従業員の一人が大学時代の恩師から「研究中である、DNA についての培養技術のスピードが高まれば、人や家畜の病気を特定する速度が劇的に上がることになる。それによって、早期治療が容易になったり、病気の蔓延が予防されたりするなど、大きな効果が期待される。」という話を聞いた。情報収集や技術開発に必要な人材やノウハウを調べてみた結果、同社は、自社開発が可能であると判断し、事業化を決意した。その後、企業グループ内で新たな技術開発に必要とされる資金を調達し、製品開発に開発者が没頭できる環境の整備とともに、会社創業以来重点的に取り組んできたものづくりのノウハウを生かして、インフルエンザや他の病原菌ウイルスの有無を確かめる超高速の遺伝子検査技術を生み出した。

この検査技術により、病原体ウイルスが 10～20 分で特定されることとなり、病気の蔓延の予防が期待されている。実証テストを行いながら、同社は医療関係者に検査技術の売り込みを行ってきたことで、徐々にその効果についての認識も高まっている。同社は現在医療機関および主要メーカーと組んで DNA の培養に関して更なるスピードアップに取り組んでいる。

【解説】

1) R&D

research and development の略で、「研究開発」のことになります。前置詞の through とよく結びついて、through research and development の形で使われます。

2) 医療（用）機器 [medical equipment]

「医療（用）機器」は medical equipment が一般的です。equipment は集合名詞として単数形で用います。

3) 新たな事業展開をする

「新たなビジネスを構築する」とパラフレーズできます。establish a new business / set up a new business などといえますね。

4) 検査キット [testing kit / test kit]

「検査キット」は testing kit / test kit でいいでしょう。ちなみに、kit for testing としても同じ意味になります。「検査するためのキット」です。「営業費」の operating costs など costs for operating と言い換えられます。

5) 金型 [die]

「金型」は die といいますので、びっくりしないでください。金型製造は die manufacturing といいます。

6) 成形加工 [mold processing]

mold は「鋳型」のことですね。鋳型とは、鋳物を作る際に、溶かした金属を注ぎ入れる器のことをいいます。これに砂型と金型があります。

7) 培養技術

「培養技術」は、culturing technique(s) や culturing technology (or technologies) となります。両方とも「技術」の意味で用いられ、区別が曖昧な場合がありますが、technology は元々「工業技術の科学研究」の意味 (biology / psychology の -logy です) から今日の「(科学) 技術」の意味となり、一方、technique は「(芸術作品における) 手法、技法」の意味から「(専門的) 技術、技巧」などを示すようになっていきます。科学的知見を基に研究している培養技術となれば、technology に軍配が上がりそうです。

8) 資金を調達する

「資金を調達する」は、raise funds や raise money といいます。「資金集めのパーティー」を a fund-raising party といいます。

9) 有無を確かめる

前置詞 for の特殊用法です。check などの「確かめる、調べる」といった意味の動詞の後で用いると、for ～は「～がないかどうか」の意味合いが出ます。例えば、check for sprinklers は「スプリンクラーが設置されているかどうか調べる」の意味になります。ちなみに、check sprinklers は、スプリンクラーを直接調べて不具合を確かめるという意味になります。

10) 実証テスト

新たに開発した製品・技術などを、実際の場面で使用し、実用化に向けての問題点を検証することを意味します。「実証実験」ともいいます。英語では、demonstration test となります。

【参考訳例】**A company that successfully established a new business in the medical equipment field through research and development (R&D)**

Kannon-yama Manufacturing Co., Ltd. produces testing kits and medical equipment in Takasaki City, Gunma Prefecture with 34 employees and capital of 30 million yen.

Kannon-yama Manufacturing was originally engaged in die manufacturing and mold processing. As future growth looked weak due to intensified domestic and international competition, the company wanted to launch a new business. In a process of repeated trial and error, they collected ideas from inside and outside the company, with the president personally examining the business potential of the proposals. During this process, an employee heard one of his former professors say “If the DNA culturing techniques being researched can be accelerated, that will dramatically increase the speed of identifying human and animal diseases. It would generate great effects such as facilitating early treatment and preventing the spread of disease.” After looking at the know-how and personnel required for information collection and technology development, the company concluded that in-house development would be possible and decided to try and turn this into a new business. Kannon-yama Manufacturing raised the funds required for new technology development within their corporate group. They prepared an environment where the developers could fully devote themselves to product development, made use of manufacturing know-how, which has been a main focus since the company was founded, and developed ultra-fast gene testing technology for influenza and other pathogenic viruses.

This testing technology can identify pathogenic viruses within 10-20 minutes, and is expected to prevent the spread of diseases. While conducting demonstration tests, the company has been marketing their testing technology to medical professionals, which has gradually increased awareness of its effects. Kannon-yama Manufacturing is now working in collaboration with medical institutions and leading manufacturers toward even faster DNA culturing.